



道民カレッジロゴマーク
愛称「マナボー」

college news

カレッジだより

～学びから 夢が生まれる道民カレッジ～

2012 Sep.

vol. 22

深層生涯学習の実践と道民カレッジ学会の創設

道民カレッジ・フレンズ十勝 顧問 佐藤 文彦



私は、平成15年春、公務員生活（林野庁と会計検査院）を卒業して東京から帯広に帰ってきた。そして、道民カレッジ連携講座である帯広市民大学など生涯学習の講座で受講生と講師の2足のわらじを履くようになった。

平成20年4月7日付け十勝毎日新聞の「青々広々」に「学ぶだけではもったいない」と題する生涯学習の在り方を書いた。その後、音更町高齢者大学や、札幌市と帯広市で開催された（財）北海道生涯学習協会、北海道立生涯学習推進センター、道民カレッジ主催の講座でも「学ぶだけではもったいない」と題する講師をしてきた。また、道民カレッジ・フレンズ十勝の顧問をしている私は、その方向でリーダーシップをとってきた。

それら講座の講師をした中で、「生涯学習は、学ぶだけではもったいない。学びを通じて自分の隠れていた能力に気づく。その能力を生かして活動する。そして、自己実現する」と話してきた。

そんな中、札幌の（財）北海道生涯学習協会の三原和廣事務局長から、「最近、旭川の道民カレッジ関係団体が『学ぶだけではもったいない』ということに関心をもってきている」旨の話があった。

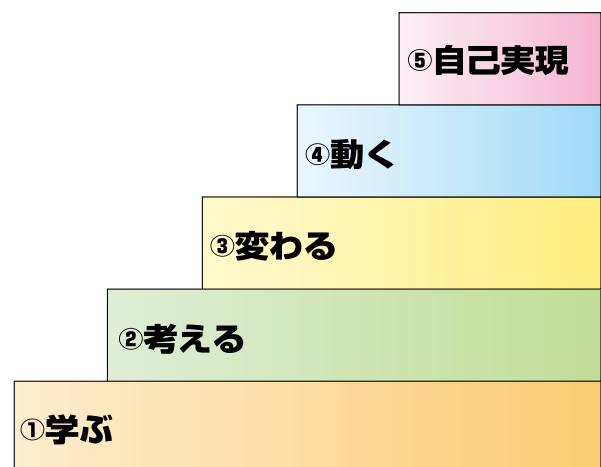
そこで私は、「生涯学習人！学ぶだけではもったいない」という考え方が全道的に広がってほしいとの思いもあって、①学ぶ②考える③変わる④動く⑤自己実現－の「深層生涯学習の5段階」という図式を創った。頂点はもちろん、「自己実現」だ。そこには、講座で学ぶだけの生涯学習は、普通の生涯学習。自己実現を目指す生涯学習は、深層生涯学習という意味がある。生涯学習人の皆さんには、深層生涯学習の実践をお勧めしたい。

道民カレッジとの関わりを持って活動しているうちに、いつの間にか生涯学習の研究家・評論家になっていた私の生涯学習推進への思いは、まだまだ発展していく。道民カレッジで学び深層生涯学習を通してレベル・アップした道民カレッジ生の受け皿として、道民カレッジ学会の創設を準備している。その創設には、官製、すなわち道の主導によるものではなく、レベルアップした道民カレッジ生が自発的・自主的に立ち上げ、活動するところに大きな意味がある。道民カレッジ生の中でもレベルの高い人材を会員とする、この学会には、街の研究者・学者の集まりとしての学会。1つの研究分野にこだわらない多分野的な学会。会員の各々が研究成果を発表・評価できる学会。会員相互がギブ・アンド・テークの関係にある学会。地域に貢献できる学会。との特性がある。

まずは、北海道全域を対象とする道民カレッジ学会を帯広・十勝で小さく作って、徐々に大きく育てる。そこから今まで見えてこなかったモノが見えてくる。新しいモノが湧き出てくる。そのワクワク感がたまらない。

（創造心理&安全心理研究所長、帯広市）

深層生涯学習の5段階



生涯学習人！

学ぶだけではもったいない

講座で学ぶだけの生涯学習は、普通の生涯学習
自己実現を目指す生涯学習は、深層生涯学習

主催講座のご案内

道民カレッジ出前講座実施一覧

出前講座は、ワークショップや体験活動などを取り入れて、地域課題の解決を図る講座を実施し、「地域づくりに貢献する人材の発掘・育成に取り組む市町村や団体を支援する」ために開催します。

「ほっかいどう学」出前講座の内容

- ◆希望市町村や団体の要望に基づき、まちづくりの実践的な知識・ノウハウを持った講師を地域に派遣し、地域課題の解決にむけた住民参加の地域づくり実践講座です。
- ◆意見交換や事例発表等による参加型学習プログラムを中心とした講座で、参加すると必修単位（1講座4単位）を取得することができます。

圏域	市町村名	テーマ（地域課題）	実施日（予定）	問い合わせ先
道央	真狩村	コーチングやコミュニケーショントレーニングなどの実技をととして、自己を見つめ、町づくりにおける人と人とのつながりの大切さを学ぶ。	24年11月	真狩村教育委員会 0136-45-3336
	歌志内市	食を通してともに考える健康なまちづくり	24年10月4日	歌志内市教育委員会 0125-42-3902
	栗山町	ハサンベツ里山での一日～ハサンベツでの体験とその取り組み～	24年9月30日	栗山町教育委員会 0123-72-1117
道南	厚沢部町	城郭から考える幕末維新期の道南 ～松前城、五稜郭、館城の調査・整備からみえてくるもの～	24年10月20日	厚沢部町教育委員会 0139-64-3436
	福島町	「道南の歴史について」	24年10月21日	福島町教育委員会 0139-47-3675
道北	旭川市	未定	未定	旭山動物園 0166-36-1104
	苫前町 終了	高齢者の生きがいづくりと健康づくり	24年9月7日	苫前町教育委員会 0164-65-4076
オホーツク	斜里町	樹木医と、歩いて学んで体験する 知床の森	24年9月29日	オホーツクみどりネットワーク オホーツク総合振興局林務課 0152-41-0652
	紋別市	「地域を支える地場産業の力」～信頼と付加価値を高める水産加工業の取り組み	24年10月13日	紋別市立オホーツク青年の家 0158-23-2474
十勝	帯広市 終了	「帯広の森」を考える ～バス見学会とワークショップ～	24年6月24日	帯広市教育委員会 0155-65-4192
	本別町	十勝東北部「高齢者学びのつどい」～高齢者の生きがいと健康づくり	24年9月28日	十勝東北部社会教育連絡協議会（本別町教育委員会） 0156-22-2331
釧路・根室	標津町	未定	未定	標津町教育委員会 0153-82-2900

「ほっかいどう学」大学放送講座一覧

道内の大学と放送会社の協力を得ながら、ほっかいどう学に関する専門的な講座の学習コンテンツを制作し、テレビ放送を活用して学習します。

平成24年度「ほっかいどう学」大学放送講座

回	大 学	講 師	タ イ ト ル	放送 午前 5:00～5:30	再放送 午前 2:56～3:26
1	北海道情報大学	経営情報学部教授 坂本 英樹	常識を変えた！行動展示 ～マーケティングで読み解く旭山動物園～	10/6（土）	10/9（火）
2	北海学園大学	法学部 准教授 木寺 元	地方都市って言うな！ ～北海道における空間管理の政治学～	10/13（土）	10/16（火）
3	北海道教育大学 （岩見沢校）	教育学部 准教授 森田 憲輝	寒いと「太る」のはホント？ ～人は寒いとどう反応するのか～	10/20（土）	10/23（火）
4	札幌国際大学	人文学部 教授 大月 隆寛	「ホッカイドウ学」ことはじめ ～“北海道”はどのように語られてきたか？～	10/27（土）	10/30（火）
5	北海道医療大学	心理科学部 教授 富家 直明	不登校・いじめは防げるか？ ～教育現場の新たな挑戦～	11/3（土）	11/6（火）
6	北海道大学	高等教育推進機構 准教授 瀧澤 一騎	「走る」を考える ～走運動を通じたスポーツと健康～	11/10（土）	11/13（火）
7	札幌大学	副学長 教授 本田 優子	アイヌ語の音と表記 ～小文字のカタカナって何？～	11/17（土）	11/20（火）
8	北海道薬科大学	薬学部 教授 丹保 好子	ダメ。ゼッタイ。薬物乱用 ～甘い誘いから逃れるためには～	11/24（土）	11/27（火）



○HBC（北海道放送）にて放送いたします。

○1講座につき1レポート提出で、称号取得に必要な【必修1単位】が取得できます。

○大学放送講座テキストは事務局にて販売中（1冊1000円）。郵送でテキスト購入を希望される方は、リーフレット掲載の振込用紙に必要事項を記入の上、郵便局からご送金下さい。

○インターネットで大学放送講座を視聴される場合は、「ほっかいどう学BB」で検索して下さい。

「道民カレッジ有志の会」に登録しました。

「プラチナの会」 熊谷 ゆき

「プラチナの会」は今年5月にこれまで道民カレッジで学んだ成果をもとに今後も生涯学習を積極的、自主的に継続することをねらいとして発足しました。現在、6人（男性5・女性1）で月2回の定例会をもち、かでの2・7の9階交流広場で活動しています。

①メンバー相互の情報交換と円滑な連携を図るため、実践的な「パソコン技術の向上」を目指す。

我流でなんとか・以前使っていた・これから使ってみないと段階は色々ですが、パソコン関連のビデオを視聴し、パソコン操作の初歩から学習しています。

今迄4回開催しました。どんどん進化する多機能端末器にも触れるようになりたいものです。

②「FMもえる」と「プラチナの会」の連携講座を試行する。

今年2月の「学習成果活用セミナーⅩⅣ」で検討した連携講座の内容を実現しようとするものです。その第1弾としてメンバーが留萌市の放送局「FMもえる」に出演し、学ぶ喜び・仲間のいる楽しさなど話をして道民カレッジをアピールしました。留萌市との連携をじっくりと模索中です。

③学習振興課との情報交換や連携を図り、「道民カレッジ」の推進に協力する。

5月から始まった「ほっかいどう学」かでの講座の単位押印や資料配布・「ガイドブック」の校正作業協力などボランティアで活動中です。

会の名称「プラチナ」は金や銀より品格があって色あせない輝きを保ちます。シルバー世代と称されることが多い高齢者ですが、現代の行動的な世代には「プラチナ」の方がぴったりです。（株）三菱総合研究所の小宮山宏氏が提唱する「プラチナ社会」に触発された会の世話人・林さんの発案です。「燐し銀」の渋い魅力も捨てがたいですが、いつまでも元気で「受け手ではなく担い手」として現役で活動したいと思います。知る楽しさでつながる「知縁」、共に学びあう「学縁」で多くの仲間と交流出来たらこれ以上の喜びはありません。



カレッジ生に単位認定のお手伝い



パソコンを学ぶ会員



平成24年度情報交流広場（まなびの広場）展示一覧（10月～3月）

情報交流広場は、道民の皆さんの学習成果の発表の場です。

月	開催期間	発表団体
10	1日（月）～15日（月）	書と絵手紙サークル作品展
10・11	16日（火）～11月15日（木）	大窪淑絵と彫刻家作品展
11	16日（金）～30日（金）	絵画サークルたんぽぽ作品展
12	3日（月）～21日（金）	国立日高青少年自然の家施設紹介
12・1	25日（火）～1月11日（金）	北海道写真集団はまなす作品展
1・2	15日（火）～2月15日（金）	国立大雪青少年交流の家施設紹介
2	18日（月）～28日（木）	北海道心の教育推進機構パネル展
3	1日（金）～29日（金）	フォートさっぽろ「花の会」作品展

道民カレッジで学んだ成果や日常、学習活動に取り組んだ成果を発表してみませんか。



大学放送講座の展示風景



大森木版画同好会による木版画展

道民カレッジ連携講座（前期）の状況と募集について

平成24年度前期連携講座状況 (H24.8.31現在)

◇コース別参加団体・講座数

※団体数は延数とする

区 分 コース名	市町村		高等教育機関等		専修学校および 各種学校		各種団体		関係機関		合 計	
	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数	団体数	講座数
ほっかいどう学	29	73	20	34	0	0	33	90	16	44	98	241
能力開発	9	17	33	81	13	24	40	89	5	8	100	219
環境生活	28	64	36	94	4	7	43	107	9	14	120	286
健康・スポーツ	29	153	44	76	2	12	55	180	3	3	133	424
教養	50	114	84	385	8	23	62	307	14	28	218	857
合計	145	421	217	670	27	66	233	773	47	97	669	2,027

◇学習内容のコース分類

コース名	内 容	講座（事業）例
ほっかいどう学コース	北海道の歴史や民族、地域学など、北海道民としての課題をテーマにした講座	町の歴史講座、地域学講座等
能力開発コース	地域社会を担う人々の知識や技能・資格など、専門性を高める講座（パソコンや語学関係の講座は全て含む）	介護教室、パソコン講座、外国語講座等
環境生活コース	社会生活を営む上での様々な課題をテーマにした講座	子育て講演会、家庭教育、エコロジー、自然観察会等
健康・スポーツコース	健康づくりや体力づくりなど、健康・スポーツに関する幅広い分野をテーマにした講座	各種スポーツ教室、健康づくり講演会等
教養コース	豊かな人生をおくるための基礎的な分野をテーマにした講座	各種教養・文化教室、文化講演会等

道民カレッジの連携講座を募集してます

道民カレッジでは道民の多様化、高度化する学習ニーズに対応することにより、道民が自らの意志によって学べるよう道内各市町村等で行われる様々な学習機会を連携講座として募集しております。

《対象となる講座》

- ◎実施期間 前期分は4月～9月、後期分は10月～翌年の3月末
- ◎実施要件 ・市町村及び大学・短大、高等学校、特別支援学校、専修学校、各種学校等、各種団体、民間教育事業者・企業等が実施する講座
- ・原則として、総時間数が概ね5時間、もしくは開催回数が3回以上の講座であること。ただし、当該市町村民限定講座や1講座1時間の講座などについても学習内容が道民カレッジとしてふさわしい場合については連携講座として指定します。

《募集時期》

- ◎1月中旬～2月中旬：〈前期分〉4月～9月の講座
- ◎7月上旬～8月上旬：〈後期分〉10月～翌年3月の講座
- *年間をとおして募集を行います。締切期日を過ぎて提出された申込みについてはガイドブックに掲載できないため、後日ホームページで紹介します。

《連携の手続き》

- ◎「道民カレッジ連携講座開設申込書」（道民カレッジホームページ上に様式があります）に必要事項を記入の上、郵送またはFAX・Eメールにより道民カレッジ事務局へお申し込み下さい。なお、講座の開催要項等がある場合は添付してください。
- ◎また、すでにユーザーID・パスワードを発行されている機関・団体等は、インターネットによる講座情報入力によりお申し込み下さい。
- ◎コースの分類については、上記を参照ください。
- ◎お申し込み後、審査の上、通知します。

《その他》

- ◎連携講座の主催者は、連携に指定された講座について道民カレッジの連携講座であることを表示してください。
- ◎この募集要領及び連携講座申込書は、下記のホームページにも掲載してあります。

【お問い合わせ先】

事務局：道民カレッジ事務局（（財）北海道生涯学習協会）〒060-0002札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7
 TEL 011-231-4111（内線36-343）・011-204-5780
 FAX 011-281-6664
 Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/
 道民カレッジホームページ http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/
 主 催：北海道教育委員会・北海道立生涯学習推進センター

写真で見るカレッジ事業

大学放送講座



ドライリハーサル（台本の読み合わせ）



収録風景

出前講座



おうちでできる健康づくり運動（苫前町会場）



帯広の森で指導者から説明を聞く参加者（帯広会場）

自主学習グループの活動風景



自主学習グループ「めだかの学校」の学習風景



自主学習グループ「歴史を学ぶ会」バスツアー
合田講師の説明を聞く参加者（寿都町歌楽「教立寺」）



自主学習グループ「自然を学ぶ会」バスツアー
シューパロダムの模型に見入る参加者

連携講座（かでの講座）



「樺戸集治監と北海道開拓の歴史」
櫻庭誠二月形町長の講演を聞く参加者



「テレビの裏側、すぐに役立つ話し方のコツ」
講演中の船越ゆかりHBCアナウンサー

視聴覚センター



視聴覚センターでは学習教材を提供しています。

新規 道民カレッジ称号取得者一覧

(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(敬称略 本人から承諾を得ている方を掲載しています。)

● 学長奨励賞 (3000単位取得) ●

傳寶 博愛(札幌市)

● 学長奨励賞 (2000単位取得) ●

藪谷 義雄(帯広市)

● 学長奨励賞 (1000単位取得) ●

山田 紀子(旭川市)

入谷 輝男(旭川市)

秋元 博子(札幌市)

佐賀富士雄(札幌市)

石川 弥一(札幌市)

深畑千恵子(札幌市)

石 好八郎(小樽市)

石原 照子(函館市)

● 博 士 (300単位取得) ●

山田 紀子(旭川市・健)

松井 英成(帯広市・教)

橋詰 正和(札幌市・教)

品田 紀子(小樽市・ほ)

中島 洋一(札幌市・教)

林 君雄(札幌市・環)

藤内 英夫(札幌市・ほ)

山崎 繁光(室蘭市・教)

松井 絹子(帯広市・教)

平瀬 春吉(岩見沢市・ほ)

酒井 清美(湧別町・教)

佐々尾雅志(札幌市・能)

入谷 輝男(旭川市・環)

松浦 数義(札幌市・環)

平川 省三(滝川市・ほ)

木元 秀則(江別市・ほ)

増子 和子(美幌町・教)

加藤真知子(函館市・ほ)

藪谷 義雄(帯広市・健)

今野 武蔵(美瑛町・環)

● 修 士 (200単位取得) ●

林 葵(帯広市・環)

平川 省三(滝川市・ほ)

松井 絹子(帯広市・教)

堀北 真吾(札幌市・教)

小敷澤幸子(北広島市・教)

入谷 輝男(旭川市・ほ)

酒井 清美(湧別町・教)

品田 紀子(小樽市・ほ)

松里 裕子(札幌市・健)

内田美佐子(音更町・健)

大川千枝子(札幌市・教)

今野 武蔵(美瑛町・環)

入谷 輝男(旭川市・環)

松井 英成(帯広市・教)

三谷 馨(札幌市・環)

田中 豊實(音更町・健)

中島 洋一(札幌市・教)

● 学 士 (100単位取得) ●

平川 省三(滝川市・ほ)

大森 教二(旭川市・ほ)

松里 裕子(札幌市・健)

堀北 真吾(札幌市・ほ)

大川千枝子(札幌市・教)

今野 武蔵(美瑛町・健)

三谷 馨(札幌市・環)

山下 芳孝(音更町・環/教)

松井 英成(帯広市・教)

沢田 俊雄(札幌市・教)

北口 清美(札幌市・ほ/環)

伊藤 正憲(旭川市・環)

荒 博(札幌市・環)

田中 琢男(札幌市・教)

木下 睦子(札幌市・健)

入谷 輝男(旭川市・ほ)

松井 絹子(帯広市・教)

松浦 数義(札幌市・教)

加納 信義(帯広市・ほ/環/教)

久保田和夫(旭川市・環)

吉田 貴子(函館市・ほ)

渡辺 淳一(北広島市・環)

北川 嘉子(札幌市・ほ)

松本 栄子(札幌市・教)

※称号取得の方法や手続きに関するお問い合わせは、下記の道民カレッジ事務局まで、ご連絡ください。

なお、道民カレッジのホームページでは、称号取得のモデルプランを見ることができます。

(注) ほ：ほっかいどう学 能：能力開発 環：環境生活 健：健康・スポーツ 教：教養

称号取得者等

学 士	修 士	博 士	学長奨励賞				
			1000単位	2000単位	3000単位	4000単位	5000単位
534人	365人	293人	57人	12人	5人	2人	1人

カレッジだより Vol.22

平成24年9月発行

編集・発行 道民カレッジ事務局〔(財)北海道生涯学習協会〕

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7ビル9階

TEL (011) 204-5780 FAX (011) 281-6664

URL <http://manabi.pref.hokkaido.jp/hsgk/college/>

Eメール college@manabi.pref.hokkaido.jp

● 道民カレッジ事務局から

1. 道民カレッジ生で住所変更等があった時は、ご面倒でも事務局までお知らせください。
2. 道民カレッジ生による「道民カレッジ友志の会」が結成され、学びの広場(かでの2・7 9F)「交流コーナー」を拠点にサークル活動を進めています。多くのサークルの登録をお願いします。
3. 今月号より4ページから6ページになりました。これからもカレッジ生の活動の様子など情報発信に努めてまいります。